

1 費目別指数の動き

1-1 食料

食料は104.8となり、前年に比べ0.5%の下落となった。

肉類が3.9%、魚介類が2.5%、野菜・海藻が2.5%、油脂・調味料が0.5%、乳卵類が0.3%の上昇となった。

一方、果物が6.4%、穀類が3.7%、酒類が3.2%、調理食品が2.6%、飲料が1.7%、外食が1.5%、菓子類が1.4%の下落となった。

生鮮食品についてみると、生鮮魚介が4.3%、生鮮野菜が4.1%の上昇となった一方、生鮮果物が6.5%の下落となったため、生鮮食品全体では1.8%の上昇となった。

表1 食料の中分類別前年比の動き

図7 食料指数の月別の動き

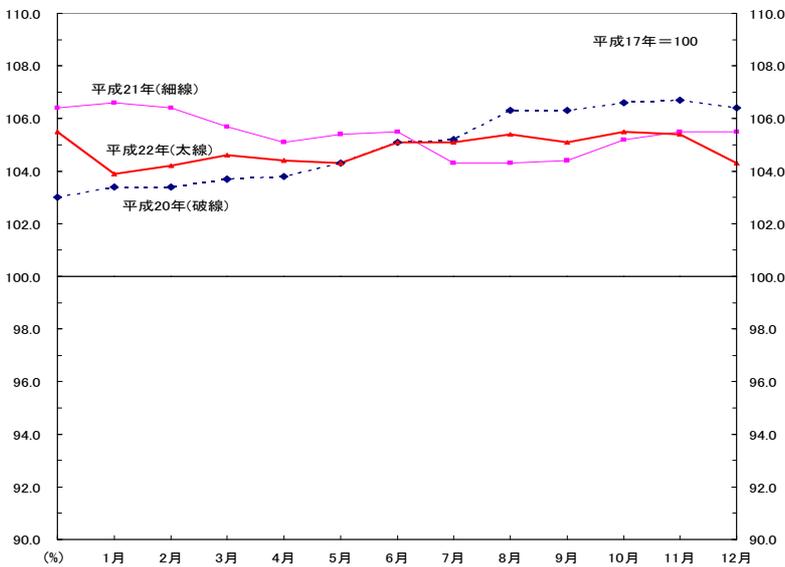
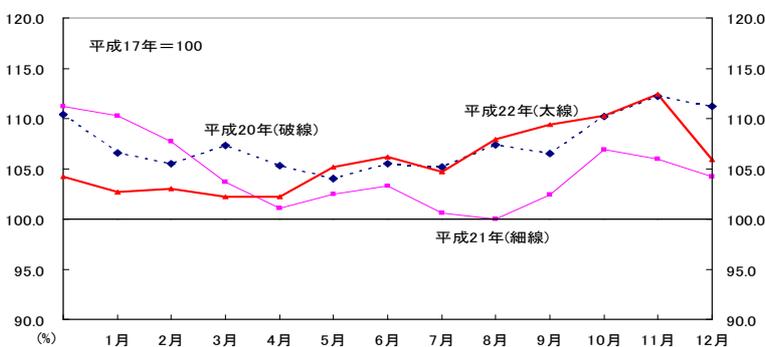


図8 生鮮食品指数の月別の動き



項目	20年	21年	22年
食料	2.9	0.2	-0.5
穀類	7.6	-0.1	-3.7
魚介類	0.0	-1.4	2.5
肉類	0.9	-0.4	3.9
乳卵類	4.0	-1.5	0.3
野菜・海藻	1.9	0.6	2.5
果物	4.9	-3.1	-6.4
油脂・調味料	8.4	2.8	0.5
菓子類	8.3	3.1	-1.4
調理食品	3.9	2.7	-2.6
飲料	0.6	-0.8	-1.7
酒類	3.2	1.7	-3.2
外食	0.9	-0.7	-1.5
生鮮食品	-0.1	-2.9	1.8
生鮮魚介	-3.9	-4.7	4.3
生鮮野菜	1.6	-0.7	4.1
生鮮果物	5.2	-3.4	-6.5

図9 生鮮魚介指数の月別の動き

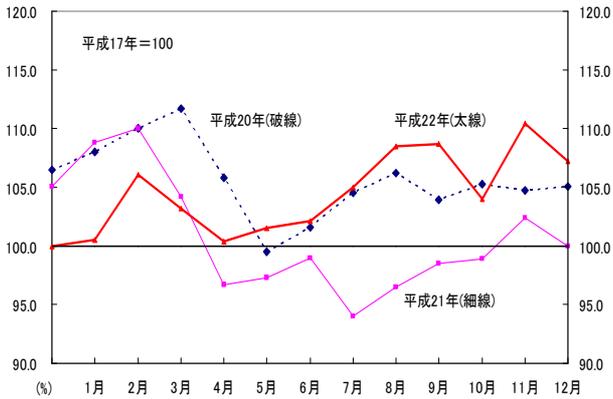


図10 生鮮野菜指数の月別の動き

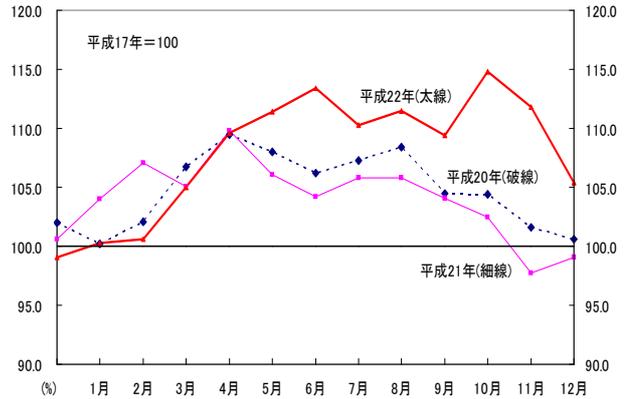
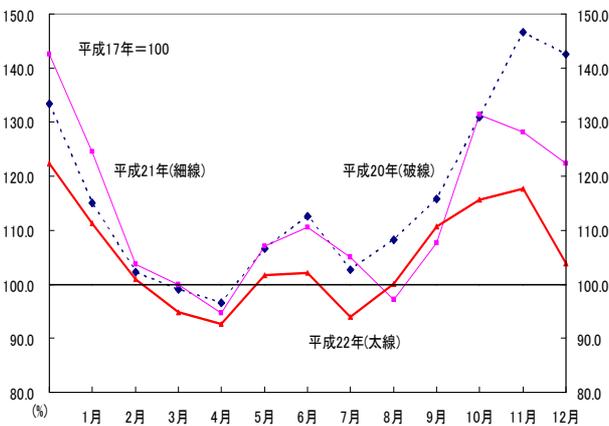


図11 生鮮果物指数の月別の動き



1-2 住居

住居は104.1となり、前年に比べ1.1%の上昇となった。

内訳をみると、家賃が1.4%の上昇、設備修繕・維持が0.9%の下落となった。

なお、持家の帰属家賃を除く家賃は1.4%の上昇となった。

図12 住居指数の月別の動き

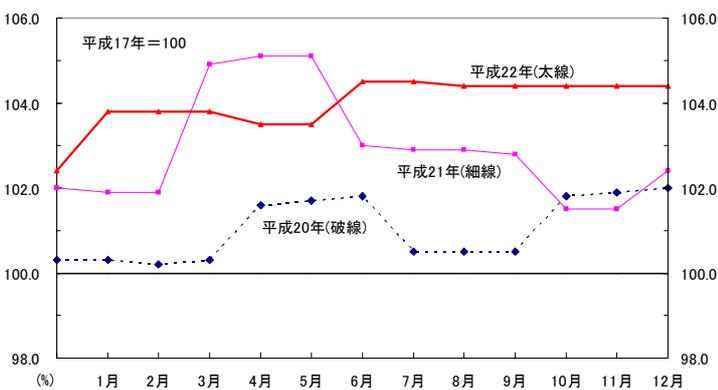


表2 住居の中分類別前年比の動き

項目	20年	21年	22年
住居	0.8	1.9	1.1
家賃	0.6	1.9	1.4
設備修繕・維持	2.7	1.3	-0.9
持家の帰属家賃を除く住居	1.7	1.4	0.4
持家の帰属家賃を除く家賃	0.7	1.4	1.4

1-3 光熱・水道

光熱・水道は104.3となり、前年に比べ1.3%の下落となった。

内訳をみると、他の光熱が灯油の値上がりにより14.9%の大幅な上昇となった。

一方、ガス代は4.0%、電気代は2.3%の下落となった。

なお、上下水道料は前年と同水準となった。

図13 光熱・水道指数の月別の動き

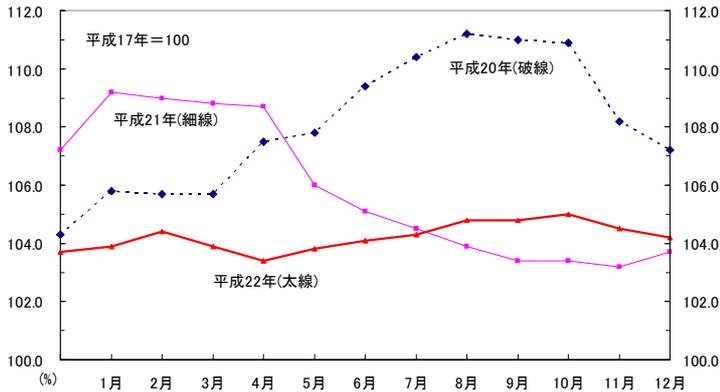


表3 光熱・水道の中分類別前年比の動き

項目	20年	21年	22年
光熱・水道	5.4	-2.5	-1.3
電気代	2.4	0.0	-2.3
ガス代	5.6	0.4	-4.0
他の光熱	31.2	-33.4	14.9
上下水道料	5.1	0.0	0.0

1-4 家具・家事用品

家具・家事用品は92.5となり、前年に比べ2.4%の下落となった。

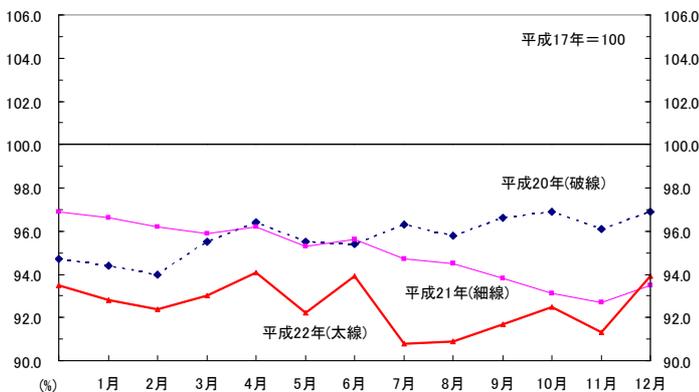
内訳をみると、家庭用耐久財が3.2%下落し、13年連続の下落となったのをはじめ、室内装備品が7.7%、家事用消耗品が4.5%、家事雑貨が1.0%の下落となった。

一方、寝具類は0.5%の上昇となった。

なお、家事サービスは前年と同水準となった。

表4 家具・家事用品の中分類別前年比の動き

図14 家具・家事用品指数の月別の動き



項目	20年	21年	22年
家具・家事用品	0.0	-1.0	-2.4
家庭用耐久財	-0.8	-2.2	-3.2
室内装備品	-12.9	-4.9	-7.7
寝具類	-6.1	1.5	0.5
家事雑貨	4.6	0.9	-1.0
家事用消耗品	4.2	-1.0	-4.5
家事サービス	-0.1	-0.9	0.0

1-5 被服及び履物

被服及び履物は102.5となり、前年に比べ1.2%の下落となった。

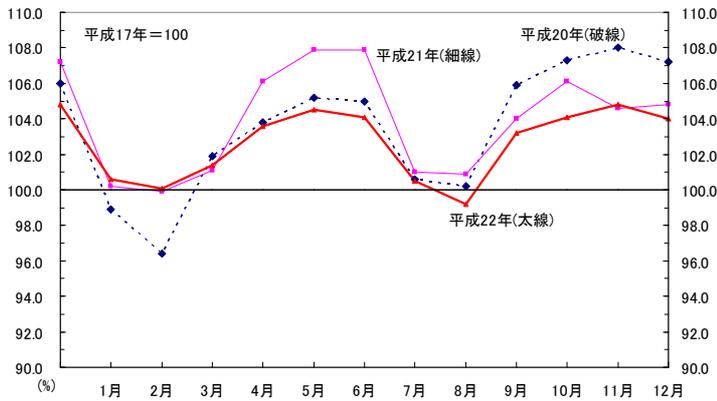
内訳をみると、衣料が4.9%の下落となった。

一方、履物類は3.2%、シャツ・セーター・下着類は2.2%、他の被服類は0.5%、被服関連サービスは0.5%の上昇となった。

なお、衣料のうちでは和服が8.6%、洋服が4.4%の下落となり、シャツ・セーター・下着類のうちではシャツ・セーター類が3.7%の上昇、下着類は1.8%の下落となった。

表5 被服及び履物の中分類別前年比の動き

図15 被服及び履物指数の月別の動き



項目	20年	21年	22年
被服及び履物	2.8	0.3	-1.2
衣料	7.5	0.6	-4.9
和服	0.0	-5.7	-8.6
洋服	8.3	1.2	-4.4
シャツ・セーター・下着類	-1.9	-0.3	2.2
シャツ・セーター類	-2.2	-1.0	3.7
下着類	-0.8	1.6	-1.8
履物類	1.0	1.9	3.2
他の被服類	-0.8	-0.2	0.5
被服関連サービス	0.9	0.2	0.5

1-6 保健医療

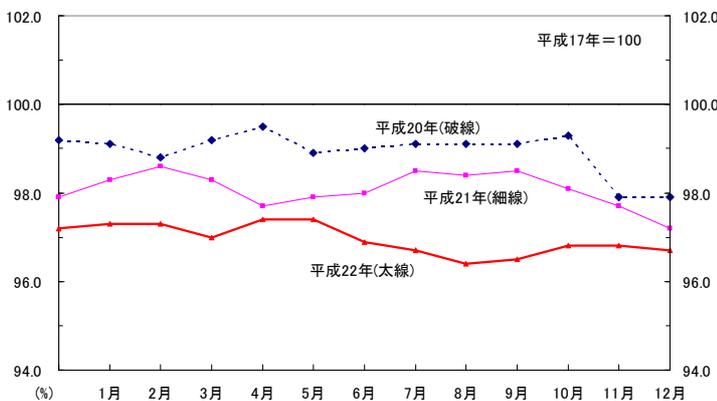
保健医療は96.9となり、前年に比べ1.2%の下落となった。

内訳をみると、保健医療用品・器具が6.0%、医薬品・健康保持用摂取品が1.5%の下落となった。

一方、保健医療サービスは0.2%の上昇となった。

表6 保健医療の中分類別前年比の動き

図16 保健医療指数の月別の動き



項目	20年	21年	22年
保健医療	-0.4	-0.8	-1.2
医薬品・健康保持用摂取品	0.0	-0.2	-1.5
保健医療用品・器具	-2.1	-7.0	-6.0
保健医療サービス	-0.1	0.6	0.2

1-7 交通・通信

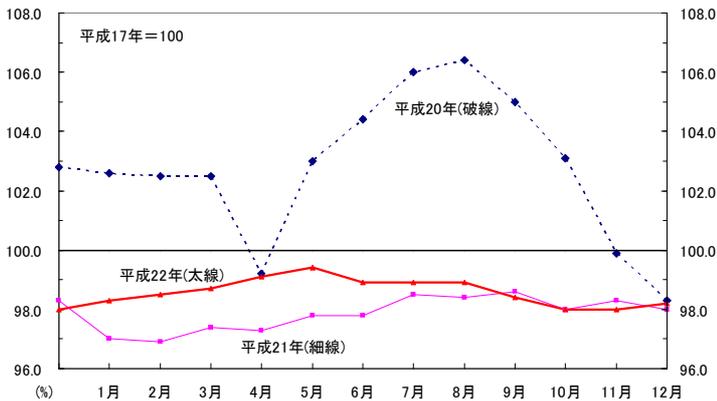
交通・通信は98.6となり、前年に比べ0.8%の上昇となった。

内訳をみると、ガソリンの値上がりにより自動車等関係費が1.8%の上昇となった。

一方、交通は1.5%、通信は0.5%の下落となった。

表7 交通・通信の中分類別前年比の動き

図17 交通・通信指数の月別の動き



項目	20年	21年	22年
交通・通信	2.0	-4.8	0.8
交通	0.7	-2.3	-1.5
自動車等関係費	3.1	-7.0	1.8
通信	0.1	-0.2	-0.5

1-8 教育

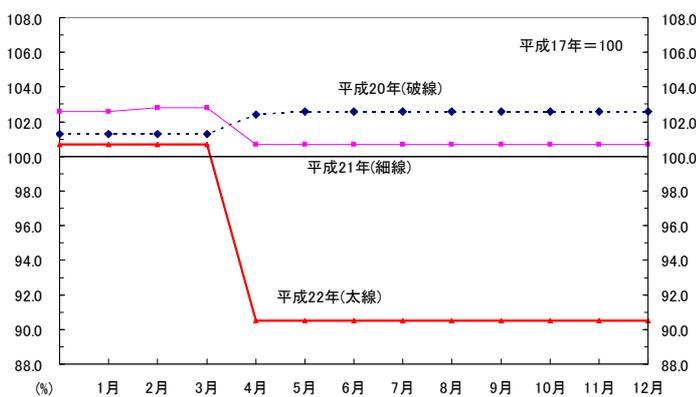
教育は93.1%となり、前年に比べ8.0%の下落となった。

内訳をみると、4月から高校授業料無償化の影響により授業料等が9.5%の大幅な下落となったほか、補習教育が2.7%の下落となった。

一方、教科書・学習参考教材は0.9%の上昇となった。

表8 教育の中分類別前年比の動き

図18 教育指数の月別の動き



項目	20年	21年	22年
教育	1.2	-1.1	-8.0
授業料等	1.5	0.1	-9.5
教科書・学習参考教材	0.2	8.6	0.9
補習教育	0.2	-7.3	-2.7

1-9 教養娯楽

教養娯楽は96.5となり、前年と同水準となった。

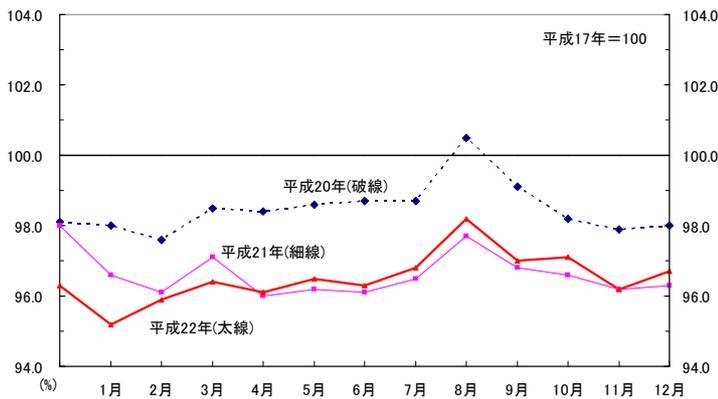
内訳をみると、液晶テレビなどの価格下落により教養娯楽用耐久財が13.6%の大幅な下落となった。

一方、教養娯楽用品は2.4%、教養娯楽サービスは0.3%、書籍・他の印刷物は0.1%の上昇となった。

表9 教養娯楽の中分類別前年比の動き

項目	20年	21年	22年
教養娯楽	-0.7	-2.0	0.0
教養娯楽用耐久財	-16.1	-14.0	-13.6
教養娯楽用品	-1.0	-1.4	2.4
書籍・他の印刷物	0.1	0.2	0.1
教養娯楽サービス	1.2	-1.8	0.3

図19 教養娯楽指数の月別の動き



1-10 諸雑費

諸雑費は104.9となり、前年に比べ2.2%の上昇となった。

内訳をみると、10月のたばこ税の税率引上げによりたばこが9.6%の大幅な上昇となったほか、身の回り用品が5.2%、他の諸雑費が1.8%の上昇となった。

一方、理美容用品は0.7%の下落となった。

なお、理美容サービスは前年と同水準となった。

表10 諸雑費の中分類別前年比の動き

項目	20年	21年	22年
諸雑費	0.4	-0.2	2.2
理美容サービス	-0.3	0.0	0.0
理美容用品	2.2	-1.4	-0.7
身の回り用品	-2.9	0.0	5.2
たばこ	0.1	0.0	9.6
他の諸雑費	1.0	0.5	1.8

図20 諸雑費指数の月別の動き

